

弘 前 大 学

國 史 研 究

第 125 号

青森市内の「天和書上絵図」について

— 明治期に書写された近世資料の一断面 —

工藤 大輔 1

〔研究ノート〕

青森県の観光事業 — 地域現場の実態を考える —

中園 美穂 20

〔研究余録〕

「津軽一統志」の流布と利用について

蔦谷 大輔 31

〔書評と紹介〕

鐘江宏之著『律令国家と万葉びと』

福田 友之 34

『青森県史 資料編 古代2 出土文字資料』

柴田 博子 40

長谷川成一著『北奥羽の大名と民衆』

兼平 賢治 44

関根達人著『あおもり歴史モノ語り』

工藤 清泰 48

長谷川成一監修 浪川健治・佐々木馨編

高橋 博 51

『北方社会史の視座 — 歴史・文化・生活 —』第二巻

河西 英通 54

ハンナ・ジョイ・サワダ／北原かな子編訳

川内 淳史 54

『日本語と英語で読む津軽学入門』

河内 淳史 54

山下祐介編

川内 淳史 54

『砂子瀬・川原平の生活文化記録集 第三号』

村中 健大 59

砂子瀬・川原平を歩いた人びと

村中 健大 59

菅江真澄・平尾魯仙・津軽民俗の会』

村中 健大 59

弘 前 大 学 國 史 研 究 会

2008・10

— 彙 報 —

◎ 弘前大学国史研究会大会が、平成二十年九月六日、弘前大学創立五〇周年記念会館において開催され、中村安宏・岩手大学人文社会科学部准教授が「北方各藩における儒学の展開と特徴」と題して講演された。

公開講演の後、国史研究会総会が開催され、総会では、会務報告、会計監査報告、会計報告がおこなわれた。

ついで新役員の改選があつて、役員任命については、会長一任が了承された。なお代表委員には、委員の互選により小口雅史委員が選任された。新役員は別掲のとおりである。

(H)

弘前大学国史研究会役員名簿 (平成二十年度)

○顧問 虎尾俊哉

○会長 長谷川成一

○代表委員 小口雅史

○委員 黒滝十二郎

竹内勇造

三浦忠司

○監事

篠村正雄

齊藤利男

福井敏隆

村越 潔

坂本寿夫

関根達人

古川淳一

本田 伸

滝本寿史

本会機関誌『弘前大学国史研究』への投稿について
投稿規定

◎ 論 文 四百字詰 60枚程度を原則とする(縦書き、以下同様)

◎ 研究ノート 四百字詰 20枚から30枚程度

◎ 研究余録 四百字詰 10枚程度

◎ 史料紹介 四百字詰 10枚から30枚程度

◎ その他(書評・研究動向・歴史随想など) 四百字詰 10枚程度
◎ ワープロでの執筆に際しては、一段に付き32字×23行で組んで下さい。字数は右の規定の範囲で計算して、それを越えないようにして下さい。

◎ フロッピーディスクによる投稿も可能です(事前に編集委員会へ御相談下さい)。行数・字数は、ワープロ執筆と同様に組んで下さい。なお、プリントアウトした原稿を添付のこと。

◎ 横書きを希望する時は、あらかじめ本会へご相談下さい。

◎ 原稿締切 一月末日と八月末日の年2回

※投稿に際しては、図表を最小限におさえ、完成原稿でお願いします。また、原稿は必ず御手元でコピーをとって保存して下さい下さい。投稿は本会会員に限ります。

※掲載については、原稿を受領後、編集委員会が審査し、一ヶ月以内に御通知します。なお、文中に掲載許可を必要とする写真・図版等を含む場合には、掲載決定後、著者の責任において権利者から許可の承諾書を取得して下さい。

※掲載分の論文等については、抜刷50部をさしあげます。
※本誌掲載の論文等を転載する場合は、本会の諒承を得て下さい。

平成二十年十月三十日

弘前大学 國史研究 第一二五号

036-
8560

弘前市文京町一番地

弘前大学人文学部日本史研究室内

編集者
発行者

弘前大学 國史研究会

振替口座 〇二三〇〇一六三四番